



The市議会

ザ・シギカイ

水道料金の値上げ … 2

委員会レポート … 4

議長・副議長に聞く … 6

一般質問 … 8

Vol.71 2023.12



市議会フェイスブック



市議会ホームページ



Y. Kijima

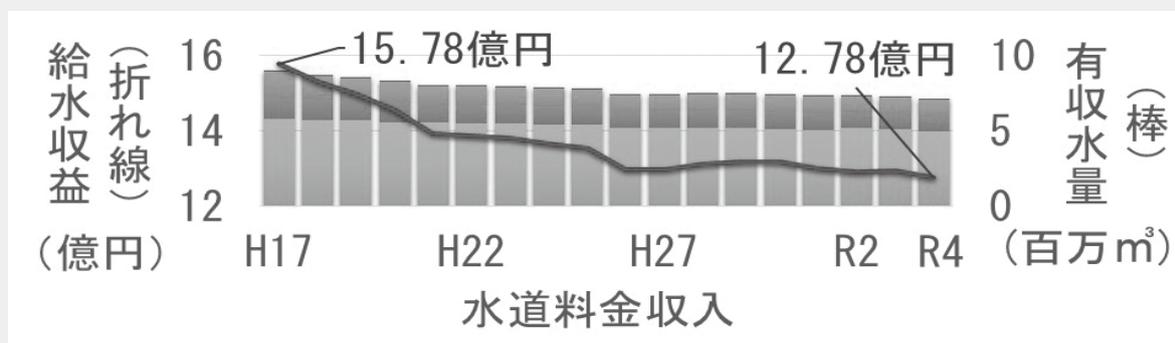
水道料金の値上げ

改定内容

今回の改定は、「子や孫と共に支える、水道システム」を構築するために必要な水道施設の更新財源を確保するため、料金を平均 19.4% 値上げするものです。

水道事業

水道事業は「受益者負担」による「独立採算制」の原則があり、水道を利用した人が支払った水道料金によって事業運営（施設の更新・維持管理）をすることが基本となります。



給水収益も平成 17 年度に比べ約 3 億円減少し、有収水量は人口減少や節水機器の普及により減少していますが、施設の老朽化は進行しており、耐震化への対応も迫られています。

市内の水道管約 430km のうち法定耐用年数（40 年）を経過した水道管は全体の約 43% になり、南海トラフ地震などへの対応を急がなくてはなりません。

老朽化や地震対策のため、更新ペースを上げる必要性はありますが、一度の料金改定では、市民生活への影響が大きくなります。

当初の 8 年間は平均 19.4% の値上げが必要ですが、市民生活への影響が大きいことから、当初 4 年間は激変緩和措置として、平均 12.9% の値上げに抑え、不足分は一般会計の繰り出しにより対応することになりました。

具体例

平均的な一般家庭では 1056 円（528 円 / 月）の値上げとなります。実施時期は令和 6 年 7 月請求（6 月検針）以降からで、令和 10 年 7 月請求（6 月検針）以降は、さらに 550 円（275 円 / 月）の値上げとなります。値上げ分の料金は、全て老朽管や施設の更新に充て、子や孫の世代まで安定した水道システムを維持するために使われます。

※両親と子ども 2 人の 4 人家族
13mm口径・2カ月 40m³使用の場合の例

	現在	令和6年	令和10年
水量	旧料金	激変緩和料金	改定料金
40m ³	5808円	6864円	7414円

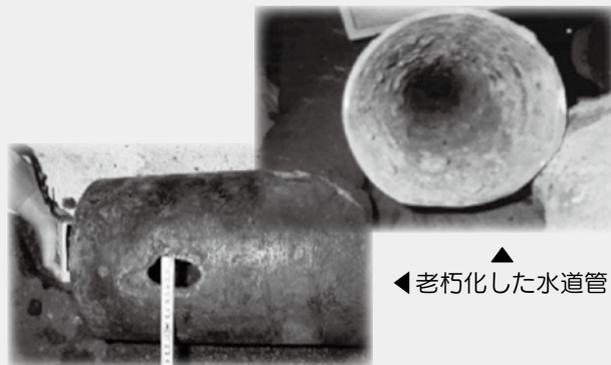
1056円
値上げ

550円
値上げ



自由討議

「値上げについて、市民に説明し、意見を聴くべきではないか。市民の理解を深めるため、審査を継続すべきではないか」、「水道は大切なライフラインである。老朽化した施設の更新や耐震化は喫緊の課題であり、安心安全な水道事業のため、料金改定による財源確保は必要である」といったさまざまな意見が出ました。



▲
◀ 老朽化した水道管

結果

反対 討論

市民が標準的に使用している 13mm口径では、月額で言えば、2904 円のが 3432 円となり、528 円もの値上げとなります。今日の物価高に便乗して、市民の命の水まで値上げすることは見直すべきであり、水道法の目的にも反します。収益的収支と施設の改修などを進める資本的収支を一緒にして、全て市民の利用料金で賄うことを前提にした今回の料金引上げには無理があるのではないのでしょうか。何より、市民生活に関わる重要な問題について、市民不在で事を進める藤田市政にこそ問題があります。本市自治基本条例の趣旨から言っても、到底納得いくものではありません。市民の納得と理解を得られないまま、今回の料金の改定は、市民生活に大打撃となるものであり、本議案に反対いたします。

賛成 討論

この議案は平成 28 年度に料金改定が提出され、それを市議会が否決した経緯があります。その際に、市議会から水道局に対して数々の要望を出し、平成 28 年度に水道局は市民説明会を行い、また宇部市との広域化にも取り組んできました。さらに、職員の減員や宇部市と薬品の共同購入を行うなど、経費削減についても努力してきました。令和 4 年度の給水収益は過去最低の約 12 億 8000 万円となり、平成 17 年度と比較すると、約 3 億円の減収となっています。現行料金のままでは、5 年で財政破綻になる危険があるのが現状であり、それは本当に避けなければなりません。市監査委員の審査意見書にも述べてありますが、「施設・設備の更新を行うためには財源確保が必要である」と最後に締めくくっております。以上、市民生活になくてはならない重要なライフラインを維持するため、そして、安心安全な水道事業の展開のため、本議案に賛成いたします。

慎重審査のもと、委員会として賛成多数で可決し、本会議でも賛成多数で可決しました。

友だち登録をして市の最新情報を受け取ろう

●アプリを活用した情報発信充実事業

概要 市が行う情報発信の課題は、知りたい情報がどこにあるか分からない、広報紙を読む若者が少ない、災害時における迅速な情報発信などがあります。そこで、スマートフォンが普及し、日常生活におけるICTの利用が増大する中、市民の約7割が利用する「LINE」を活用し、利便性のあるツールの1つとして、情報発信の向上を図ることとなりました。山陽小野田市公式LINEは令和4年12月から運用開始しました。事業費については令和4年度は4カ月分で209万9000円です。財源は全額、国の補助金を活用しています。令和5年3月末時点でのLINE登録者数は3013人ですが、令和5年8月末までのLINE登録者数は、4234人になっています。市は登録者数の増加に向け取り組んでいます。

主な質疑

- Q** 目標 2000 人のところ、4000 人が登録しています。もっと欲を出して、スピード感をもって一気に1万人、3万人を目指す前提ですべきではないですか。
- A** ポスターとチラシを配布したり、イベントに出展したりしてPRしています。
- Q** 子育て世代へは、ポスターとチラシではなく、小学校等の行事のときに職員が出向いて説明する方が効果が高いのではないですか。
- A** LINE をPR する中で、ニーズがあれば担当課と協議しながら検討していきます。



QRコードを読み込んで友だち登録してください！

【LINE 基本メニュー画面（拡大）】



便利な機能① リッチメニュー機能

LINEのトーク画面下部に固定で表示されるメニューです。基本メニュー・まちの魅力・防災情報の3つがあります。

便利な機能② 自動応答機能

LINEのトーク形式により質問に自動で回答し、情報を提供します。例えば、「チャットで質問」をタップし、「ホース ゴミ」と入力するだけで、ビニールホースの捨て方を教えてくれます。

便利な機能③ プッシュ通知機能

毎週月曜日と木曜日に約4件の情報を配信し、広報紙を補うものとして活用しています。また、設定することで必要なジャンルの情報のみを受け取ることができます。

便利な機能④ 防災情報の即時発信機能

警報、注意報等が発令されると同時に情報を受け取ることができます。先日発令された竜巻注意情報は、ただちに情報が送られてきました。

登録者数の伸び悩みが課題

●子育て支援アプリ導入事業

概要 妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートできるアプリを導入する事業です。妊産婦や子どもの健康データの管理、予防接種のスケジュール管理、子育て世帯向けのお知らせの閲覧などができます。目標の登録者数800人に対して、令和5年3月末現在の登録者数は429人で達成率は53.6%でした。

決算額 605万円

主な質疑

- Q** 登録者数を増やすために、スマイルキッズを活用した周知が必要ではないですか。
- A** スマイルキッズ、市内の保育園等にポスターを掲示しています。その他にも健診時にチラシを配ったり、広報紙や公式LINEで周知を図っています。
- Q** 核家族が多くなっていますが、祖父母と情報を共有できる機能はありますか。
- A** 祖父母や親族と写真を共有できる機能があります。
- Q** 利用者にとって面白いツールとなるように、何か工夫をすべきではないですか。
- A** 母子手帳の補完的な役割だけではなく、子育てに役立つ機能があることをPRする必要があると思います。



新施設に福祉センターを移転

●山陽小野田市福祉センター条例

概要 市の福祉の拠点である福祉センターをLABV事業による新施設に移転するものです。センターへは引き続き社会福祉協議会が入居し、市と協働して地域共生社会の実現を目指します。新施設では入浴機能がなくなり、貸館機能は併設の市民活動センターが担うこととなります。

主な質疑

- Q** 現在の福祉センターでお風呂を利用している方への対応はどのようなのでしょうか。
- A** 市としての対応は特に考えていません。
- Q** 福祉団体が会議室を使う場合の窓口はどこになりますか。
- A** 市民活動センターが窓口になりますが、貸館の運用については内部で検討を続けたいと思います。



福祉センターの配置図

反対
討論

改正後の福祉センターでは福祉の果たすべき役割が果たせないため。

賛成
討論

福祉団体に対する貸館の運用等について改善の方向性が示されたため。



議長、副議長に聞く！

10月臨時会において委員改選がありました。その後、初めての議会だより発行に当たり、広報特別委員会では高松秀樹議長、中村博行副議長にインタビューしました。これからの議会の方向性や思い、市民の皆さんへのメッセージをお届けします。

市民の期待に応えられる議会へ～これからの2年間、目指したいこと、取り組みたいことは～

市民の期待に応えられる議会になるためには、選挙によって選ばれた市民の代表者であることを自覚し、高い意識を持って議会活動にまい進することが必要だと思います。市民の期待に応えるには、住民全体の立場に立って発言し、意思決定や政策提言を行っていく必要があります。地方議会では、実質審査は委員会で行われます。その委員会をさらにレベルアップしていくことに注力していきます。



高松秀樹議長

この2年間、議長と行動を共にする機会を多く頂き、議会改革への思いや、議員個人の意識向上改革の必要性などについて議長と共感し、共有することができました。引き続き議長を全力でサポートし、市民本位の議会活動につながるよう努めていきます。また、市民の皆さんの目が議会に少しでも向くように努力していきます。



中村博行副議長

委員会審査のレベルアップへ～委員長、副委員長、各委員に期待していることは～

委員会での審査はとても重要であり、令和5年度予算ベースで約850億円を審査しています。また、その予算のほとんどが住民の生活に密接に関連したものです。委員会運営においては、精度の高い質疑はもとより、効率的、効果的な審査を期待しています。さらに、審査においては執行機関に対しての質疑に終始することなく、言論の府に相応しい議員間の討議を活発に行うことを期待しています。



高松秀樹議長

委員長が若返り、新鮮な印象です。委員長には、自分の目指す委員会運営に思い切り取り組んでいただきたいと考えています。もちろん、副委員長のサポートも不可欠です。本市議会は委員会審査中心主義なので、各委員が研さんに励み、議員力を向上させ、専門性など特性を十分発揮した活発な議論を展開する委員会審査を期待しています。



中村博行副議長

市議会に興味をもって～市民のみなさんへ一言～

市議会は、平成24年に「山陽小野田市議会基本条例」の制定以降、「開かれた議会」、「市民とともに行動する議会」、「説明責任を果たす議会」を目指して活動しています。本会議や委員会は自由に傍聴できますし、どなたでも気軽に参加できる議会カフェ（議会報告会）も平成23年から令和5年11月までで延べ184会場、2100人の市民の皆さんが参加されています。ぜひ、皆さんが選んだ議員の活動に興味を持っていただければ幸いです。



高松秀樹議長

地方議会では、全国各地で議員の成り手不足が言われ始めて久しいです。本市議会は、以前から開かれた議会を目指し、市民の皆さんに参加していただける議会カフェ（議会報告会）や、インターネットを活用したツールも提供しています。市の将来のためにも、市民参加によって将来の議員候補の育成や誕生につながることを期待しています。



中村博行副議長

各委員会の所属委員を紹介します！

お知らせ

委員改選に伴い、議会運営委員会および常任委員会の構成を変更しました。

議会運営委員会

円満な議会運営を図るため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図るための委員会です。

- 委員長 宮本 政志
- 副委員長 森山 喜久
- 委員 伊場 勇 大井淳一郎
笹木 慶之



議会運営委員会

総務文教常任委員会

総務部、企画部、協創部、大学推進室、監理室、山陽総合事務所、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項などを担当します。

- 委員長 伊場 勇
- 副委員長 森山 喜久
- 委員 大井淳一郎 岡山 明
笹木 慶之 白井健一郎
松尾 数則



総務文教常任委員会

民生福祉常任委員会

市民部、福祉部、病院局の所管に属する事項を担当します。

- 委員長 奥 良秀
- 副委員長 吉永 美子
- 委員 中岡 英二 古豊 和恵
前田 浩司 山田 伸幸



民生福祉常任委員会

産業建設常任委員会

経済部、建設部、水道局、農業委員会の所管に属する事項を担当します。

- 委員長 藤岡 修美
- 副委員長 恒松 恵子
- 委員 中島 好人 中村 博行
福田 勝政 宮本 政志
矢田 松夫



産業建設常任委員会

一般会計予算決算常任委員会

一般会計の予算および決算に関する事項を担当します。

- 委員長 中村 博行
- 副委員長 伊場 勇
- 委員 議長を除く全議員

前田浩司議員
まえだこうじ



高齢者等の 見守りサポート

【今回の一般質問】

- ・安心相談ナースホンの普及
- ・要配慮者の支援体制の整備
- ・民生委員の現状と課題

高齢者の不安解消

Q 安心相談ナースホンにはどのような機能がありますか。

A 日常生活に不安のある独居の高齢者や障がい者などを対象に、自宅で体調不良になった際、「緊急」や「相談」ボタンを押すと「あんしんセンター」につながり、看護師から折り返しの電話がかかってくる仕組みです。緊急通報だけでなく、月に1回、利用者に体調等の確認を行うなど日常的な健康相談にも活用できます。

Q 安心相談ナースホンの普及状況はどうですか。

A 令和4年度末の設置件数は340件、そのうち令和4年度中に新規に設置した件数は82件です。通報件数は43件、そのうち救急車を要請した件数は29件です。また、日常的な健康相談の件数は687件です。

住み慣れた地域で安心な生活

Q 対象条件を広げ、サービスの拡大を図る考えはありますか。

A 安心相談ナースホン事業が導入された目的は、高齢者の孤立死ゼロを目指すものであり、現在のところ対象者を広げる予定はありません。対象者以外でこのようなものの必要性を感じられている方には、例えば、#7119を周知するなど、さまざまな相談体制でカバーしていきたいと考えております。



事故をなくす

Q 相次ぐ保育現場の重大事故を防止するために、本年初めて政府がまとめたヒヤリ・ハット事例集の活用状況はどうですか。

A 国のヒヤリ・ハット事例集は場面や事案ごとに取りまとめでありますので、各保育園に通知し、職員会議などで共有して活用したいと考えています。

帯状疱疹ワクチン助成は必須!

Q 帯状疱疹ワクチンについては、7月時点で254自治体が助成制度を導入しており、今後も増えていくと考えられます。3人に1人が罹患し、高齢になるほど重症化が懸念されることから、65歳以上の高齢者について助成制度を検討する余地はありませんか。

A 国でさらなる検討を要するという審議が進んでいる段階のものであること、また、救済制度が定期接種とは異なっていること、これらが慎重な姿勢を取る理由の主なものです。これは年齢に限らずと理解してください。しかしながら、多くの市町が助成に踏み切っているという事実も気にはなっていますので、他市の動向や、他市が救済面や国の審議事項が残っている中でどのように助成に踏み切っていたかなどは調査研究していきたいと思っております。

市民の命を事故や 病気から守りたい

【今回の一般質問】

- ・市民の健やかな生活を守る
- ・動物愛護
- ・学校図書館の整備 など



吉永美子議員
よしながよしこ



宇宙監視レーダーの不安なくせ

【今回の一般質問】

- ・宇宙監視レーダーの諸問題
- ・水道料金値上げは中止を
- ・生成AI採用は慎重に

住民説明会

Q 住民説明会の際に、レーダー電磁波のモニタリング調査をすると約束していましたが、住民団体と防衛省のリモートの質疑応答でレーダー電磁波のモニタリング調査を防衛省は行う考えはないと回答していました。これは約束破りではないですか。

A 住民説明会の記録では、防衛省の回答は「当然行う予定。数字等については、必要があれば示していきたい」と表現されています。

Q 運用開始前にレーダー電磁波の測定としてきましたが、誰が計測しますか。市はその計測を一緒に検証することができますか。

A 総務省が来るかどうかは分かりませんが、総務省が定めた電波防護指針がありますので、正当な所管する部署がチェックすると理解しています。

古いデータを信用するのか

Q 防衛省は基地内に活断層はないとしています。しかし、そのデータは活断層が菊川町で止まっている古いデータです。国土地理院の断層地図では、基地の中または近辺を通っているように見えます。市は、古いデータしか使わない防衛省の意見を信用するのですか。

A 国立研究開発法人産業技術総合研究所および文部科学省地震調査研究推進本部のデータベースにのっとり、活断層はないという防衛省の報告を受け入れています。



建設中のレーダー基地

完成間近の宇宙監視レーダー

枝葉が剪定されスッキリ安全な高木



Q 草刈り作業の効率性を図る上で、国道、県道、市道を一括して行う、広域的な作業が可能ですか。

A それぞれの道路については、明確に管理区分と持ち分があり、それぞれの管理者が草刈り業務を発注します。同じ時期に草刈りを実施するという状況ではありません。実施主体の判断で行っています。

Q 歩道等の街路樹の根上がりによるトラブル、苦情が出ていますが、対応はありますか。

A 歩道等の隆起、いわゆる根上がりについては、平成30年度に市内全域の実態調査を行い、令和元年度から街路樹の根上りに特化した予算を確保し、危険度の高い箇所から、順次補修を行っています。

草刈り・根上がり・街路樹の管理

Q 高木の街路樹では、県道妻崎開作小野田線中ののり面に自然繁殖の高木等があります。台風の影響により、住民に被害が出る可能性があり、何年も前から相談がありました。早期の対応が必要不可欠でしたが、このたび、その高木が剪定されました。地域住民から大変感謝されています。今後も対応は可能ですか。

A 県に情報提供を行い、何らかの対応を進めていただきたいと伝えています。

道路の維持管理は大丈夫か

【今回の一般質問】

- ・避難場所となる学校施設等
- ・道路の維持管理
- ・投票支援カードの有効利用



道路の草刈り

伊場 勇議員
いばいさむ



ゴルフによるまちづくりを推進

【今回の一般質問】

- ・市民の功績への対応
- ・ゴルフのまちとしての取組み

強みを生かす

Q 本市への外国人旅行者は年々増えており、そのほとんどがゴルフ旅行者です。本年も約1万人の旅行者が見込まれていますが、市はどのようにインバウンド対策を行うのですか。

A 県と連携してインバウンド需要を取り込むため、商談会に参加するなどプロモーションの強化に努め「ゴルフのまち」として積極的なPRをしていきます。

Q ゴルフ事業者の努力もあり、本市のゴルフ利用税交付金はここ数年6000万円から7000万円を推移しています。本市の特色であるゴルフに対してハードとソフトの両面への支援が必要ではないですか。

A 現在できる限りのPR活動をしていますが、今後、何をすべきかゴルフ場やゴルフ協会等と協議する中で検討していきます。

大胆な情報発信を

Q 「ゴルフのまち」を市内外に発信できる具体的施策として、看板を設置する考えはありますか。

A 目立つ箇所に看板を設置することは効果的な手法と考えています。本市で行っているスポーツや芸術文化によるまちづくりの推進と比較し検討していきます。



市内ゴルフ場でナイスショット

通学路で繁茂した草



安全な通学路を

Q 通学路の危険箇所について、現状どのようにして把握していますか。

A 毎年度初めに保護者から児童生徒の通学経路を記した書類を提出していただき、それを受けて、学校で児童生徒の通学路を把握し、各学校の実情に応じて安全指導を実施しています。

通学路の安全対策を万全に

Q 通学路の危険箇所について、対応の優先順位はどうなっていますか。

A 通学路交通安全プログラムで抽出された危険箇所は、児童生徒の通行者数、交通量、過去の交通事故の履歴などを総合的に判断し、優先順位を決めています。ライン表示や注意喚起をするための路面表示など、比較的低コストで効果のある対策は、速やかに、優先的に行っています。

Q 厚陽地区の石鞆バス停付近は生活道路でもあり、子どもたちの通学道路でもあります。しかし、ここは全く歩道がない部分があり、とても危険だと思いますが、どうですか。

A 県道津布田郡線については、歩道がない現状は確認しています。ただ、県道に関する整備内容なので、市からはそのような要望があると、山口県に伝えたいと思っています。

子どもたちを守るために

【今回の一般質問】

- ・通学路の安全確保



古豊 和恵議員
ふるとよかすえ



健康で笑顔



Q 下松市も高校卒業まで医療費無料が報道されたので、山口県内では、19自治体のうち通院が10自治体で53%、入院が12自治体で63%の自治体が無料化を実施、あるいは、実施する計画となっています。本市も実施してはどうですか。

A 高校3年生まで所得制限を撤廃し無料にした場合、市の負担が約5000万円増額となります。

県内半数以上が高校卒業まで無料

Q 防府市は、小学生から一気に高校卒業まで拡充しています。高校生は、学校での経費も掛かり経済的負担も重いです。所得制限を撤廃したらよいというものではありませんが、どうですか。

A 本市では、小学校の入学時と中学校の入学時のお祝い金制度を設けており、全体的な形で子育て支援を考えています。

Q 一定の優先順位があると思いますが、多くの自治体が高校卒業まで医療費無料化を実施しているのは、無料化が重要と考えたからだと思いませんか。本市はどう考えていますか。

A 補助制度について、毎年、担当課と協議しています。引き続き議論を進めていきます。

高校卒業まで医療費を無料に

【今回の一般質問】

- ・マイナ保険証の見直しを
- ・生活保護行政について
- ・災害対策について など



なかしまよしと
中島好人議員

2年連続して浸水した市立保育園

【今回の一般質問】

- ・ねたろう保育園の床上浸水
- ・廃止された公共施設

や
た
ま
つ
お
松
夫
議員



膨らむ改修費

Q ねたろう保育園は、厚狭川洪水ハザードマップで危険な浸水区域に該当し、市民から「浸水すると分かっているながら、なぜ建てたか」という声もあります。建設場所は適正でしたか。

A 総合的に勘察し、現在の場所を適正と判断しました。浸水をクリアできる想定でかさ上げをしましたが、想定外の降雨が発生しました。起きたことは今さら言っても仕方がないので、今後は敷地内への流水を防ぐために止水対策を行う予定です。

Q 園庭で25cm、園舎内で7cmの浸水被害により、部屋や砂場の消毒等の感染症対策はどのようにされましたか。また、廊下のフローリングの張替え、床下の乾燥、使用不能となった畳や床暖房は早急に復旧工事をしなければなりません、どのくらいの工期になりますか。

A 部屋や砂場の消毒は職員で実施しました。保育を継続しながらの工事は、一部屋ずつ工期を区切り、時期や場所によっては休園日も施工することになります。工期期間等は補正予算議案で審査をお願いします。

年内までに改修工事が終わるのか

Q 園舎内の浸水防御対策は、防潮堤のように浸水を防ぐ工事を擁壁に実施しますか。

A 現在、手法や工法について検討しています。



昨年新築開園し2年連続して浸水

市議会モニターとの意見交換会を開催しました

9月定例会を9月27日に閉会したことに伴い、これまでの市議会の「活動」や「運営」について、市議会モニターの皆さんからご意見を聴取するために、10月16日（2回・7人）と17日（1回・2人）の3回に分散し、「意見交換会」を開催しました。

意見交換会で出された意見は、広聴特別委員会で「議論」、「整理」し、その結果を議長に報告します。結果は次の意見交換会で市議会モニターに報告するとともに、ホームページで公開しています。

意見交換会で出された意見

- ・1年間の意見交換会で出された意見をまとめて「解決」、「未解決」と分類し、公開してほしいです。
- ・議会だよりに市民の声を掲載しないのですか。モニターの意見も出すべきです。
- ・議会報告会を積極的に活用し、市民の声を聴き、市長に提言すべきです。
- ・委員会審査で、執行部との馴れ合いを感じます。他市町の議会を学んで、議員として自覚を持って臨んでほしいです。
- ・一般質問のときに、下を向いて質問していて議員の顔が見えず、声も通らないので、思いが伝わらないのではないのでしょうか。



- ・議会中に「省略語」、「専門用語」を使用しているのので、分かりやすい言葉で発言してください。
- ・視察報告が議会だよりで報告されていますが、成果が見えません。検証を行ったことがありますか。
- ・視察に行く目的は何ですか。学んだことがありますか。
- ・議長の任期を2年にすることについて、議会運営委員会の議題にしたことに問題はありませんか。



9月議会カフェを開催しました

主な議案報告

- 総務文教常任委員会・・・アプリを活用した情報発信充実事業
- 民生福祉常任委員会・・・空家等の適正管理の補助事業
- 産業建設常任委員会・・・水道料金の改定

月 日	開催時間	開催場所	参加人数
10月31日(火)	14:00～	赤崎地域交流センター	27人
	19:00～	須恵地域交流センター	13人
11月1日(水)	14:00～	出合地域交流センター	22人
	19:00～	埴生地域交流センター	17人



■所属議員 笹木慶之、奥良秀、恒松恵子

■視察日 令和5年8月22日、23日

長久手市では市民主体による『一人ひとりに役割と居場所があり、幸福度の高いまち』を目指し、地域の課題は地域で解決できる仕組み「重層的支援体制整備事業」を令和3年に開始しました。行政を中心とした社会福祉協議会との連携により、地域と共に考えるという役割の重要性に基づき活動されており、複雑、複合した課題を抱える世帯に対してチーム体制で支援を行う仕組みをつくっています。本市の地域づくりのため、これからも調査研究していきます。



長久手市



名張市

名張市では自治組織である「地域づくり組織」に対して、使途自由で補助率や事業の限定がない交付金「ゆめづくり地域交付金」を交付しています。各地域づくり組織では、ゆめづくり地域交付金を活用し、地域課題の解決、地域振興や住民交流に関することなど、「住民が自ら考え、自ら行う」を基本理念とし、まちづくりの推進のための事業を行っています。本市が進めている「地域運営組織」のため、参考になる部分は生かせるよう調査研究していきます。

◎賛否の分かれた議案の議決結果



←全議案の審議結果は、ホームページに掲載しています。

令和5年9月定例会	議決結果	議員名																					
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	笹木慶之	白井健一郎	恒松恵子	中岡英二	中島好	中村博行	福田勝政	藤岡修美	古豊和恵	前田浩司	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	高松秀樹	
令和4年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和4年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和4年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市福祉センター条例の全部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/
山陽小野田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/
令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算(第7回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/

○：賛成 ×：反対 -：棄権または欠席

高松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

岡山明議員は監査委員であるため決算認定の採決には加わりません。

◆議員研修会を行いました◆

- 日時 令和5年10月30日(月) 午前10時から
- 場所 山陽小野田市役所
- 講師 江藤俊昭氏(大正大学社会共生学部公共政策学科教授・本市議会アドバイザー)
- 講演内容

(1)「住民自治の根幹」としての議会の作動：議会改革の本史への突入

中央集権から地方分権が進む中で、地方政治の台頭による議会の役割が向上したこと、議会基本条例を制定・展開することにより、従来とは異なる議会運営を明確化したこと等、議会改革の本史について基礎編を学びました。

(2) 議会改革の本史の第2ステージ：議会からの政策サイクル

三重県議会の通任期(4年)を踏まえた議会の政策サイクル、飯田市議会のまちづくり委員会との協働による政策サイクルなどを学び、犬山市議会では市民フリースピーチで出た意見を全員協議会を経て一般質問とすること、会津若松市議会では一般質問の後に全議員による反省会でブラッシュアップをするなど、各議会の取組事例を学びました。



お知らせ

12月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
12月 1日(金)	議案上程・説明
12月 7日(木)	一般質問
12月 8日(金)	一般質問
12月 11日(月)	一般質問
12月 12日(火)	一般質問
12月 13日(水)	一般質問
12月 19日(火)	質疑・討論・採決

編集室より



間もなく1年の幕を閉じようとしています。今年も例年に増して猛暑や豪雨、地震が各地で被害をもたらして、天災への恐怖や不安を感じるものがたくさんありました。また、諸外国では、終わりの見えない戦争が続いています。連日ニュースで悲惨な状況を目にして胸が締めつけられるような思いです。被爆国である日本は、平和の大切さや命の尊さをしっかり受け継いでいかななくてはなりません。

◎広報特別委員会

委員長 中岡 英二 副委員長 福田勝政
 委員 大井淳一郎 委員 奥 良秀
 委員 笹木慶之 委員 古豊和恵
 委員 森山喜久



《表紙の説明》

安心安全な水の安定的な供給は、私たちにとって大切なライフラインです。水を大切に使いましょう。